

取扱説明書

SWE-1890

18cmツインドライブ・パッシブラジエーター方式
68P20877Y04-O
Printed in Japan(T)

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 表示の意味

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		
	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示します。		

警告

分解・改造をしない
分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



ヒューズ交換は容量を守る
ヒューズ交換は、必ず規定容量(アンペア数)を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行う
配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らない
コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対におやめください。コードの電流量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



穴を開けるときは、パイプ・配線類を傷つけない
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災の原因になります。



異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる
音や画面が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず「お買い上げの販売店」にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



アルパイン株式会社 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

お問い合わせはインフォメーションセンターへ TEL：03-3779-0711 FAX：03-3494-1767

電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面（FAXまたはハガキ等）をご利用ください。

電話受付時間 9：30～17：30（平日の12：00～13：30と土日、祝祭日は除く）

FAXは、24時間受付付けております。

注意

取り付け・配線は、専門家に依頼する
本機 の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ず「お買い上げの販売店」に依頼してください。



付属の部品を指定通りに使い、しっかりと取り付ける
必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



音量を上げすぎない
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



放熱板をふさがない
放熱板をふさがないでください。放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



水のかかるところ、湿気の多いところには取り付けない
水のかかるところ、湿気や埃の多いところへの取り付けは避けてください。本機 に水や湿気・埃が混入しますと発煙や発火の原因となる場合があります。



コードを挟まないように引き回す
シートレールなどの可動部に配線を挟み込む、突起部に当たるなどしてコードを傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。



車以外に使わない
本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



こんなときには

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

症 状	原 因	処 置
動作しない。 （ヒューズが切れる）などの症状。	ヘッドユニットの電源が入っていない。	ヘッドユニットの電源を入れる。
	アース・コードの接続が不完全。	アース・コードの接続を確認する。
	バッテリー電源コードの接続が不完全。	バッテリー電源コードの接続を確認する。
	ヒューズが切れている。	所定容量のヒューズと交換する。
電源は入るが、音が出ない。	リモート・オン・コードの接続が不完全。	リモート・オン・コードの接続を確認する。
	PINコードの接続が不完全。	INPUT 端子に正しく挿入する。
	スピーカー入力配線が不完全。	スピーカー入力配線の接続を確認する。
	入力感度調整ボリューム位置がシステムに合っていない。	システムに合わせて正しい位置にする。

保証書 / アフターサービスについて

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき……………まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき…保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または添付の“サービス・ショップのご案内”にあるお近くのサービス・ショップに修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理……………保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理………修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修性能部品……………製造打切り後でも、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

規格

アンプ部

- 最大出力……………150W×2ch
- 定格出力……………100W×2ch (THD 3%以下)
- クロスオーバー ……………50～150 Hz可変 (36dB/oct.)
- 入力インピーダンス……………20kΩ (ライン入力、スピーカー入力)

スピーカー部

- 方式……………18cmダイナミック型ツインドライブ・パッシブラジエーター方式
- インピーダンス……………0.7Ω

一般

- 使用電源……………DC14.4V(動作範囲；11～16V)
- アース方式……………⊖アース
- 出力音圧レベル……………94dB/10W・m
- 外形寸法……………690mm×295mm×153.5mm
- 重量……………11kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

品 名	数 量
10ピンハーネス	1
電源用延長コード	1
スピーカー入力用コネクター	4
L型ブラケット	2
平型ブラケット	2
タッピング・ネジ	8

VOL. 22(SP)	(平成 10年 7月 1日現在)
お問い合わせ窓口	

- 製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げになった販売店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

アルパインインフォメーションセンター TEL：03-3779-0711	営業時間 9:30～17:30 (平日の12:00～13:30迄と、土日祝祭日は除く)
--	--

営業所・販売名	電話番号	住 所	営業所・販売名	電話番号	住 所
札幌営業所	011-621-4485	〒064-0821北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	アルパイン九州		
北関東営業所	0286-26-2931	〒321-0953栃木県宇都宮市東宿郷4丁目2番20号 K.Dビル	福岡1課(北部九州)	092-513-1071	〒816-0081福岡県福岡市博多区井根田1丁目12番22号
東京営業所	045-541-7263	〒223-0057神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地	福岡2課(中九州)	092-513-1072	〒816-0081福岡県福岡市博多区井根田1丁目12番22号
千葉営業所	043-271-5950	〒262-0039千葉県千葉市花見川区幕張本郷6丁目26番地 須藤ビル3F	長崎営業所	0957-24-0116	〒854-0061長崎県諫早市宇都町19番地の4
中部営業所	052-779-5655	〒465-0021愛知県名古屋市中区区猿子石3丁目106番地	鹿児島営業所	0992-53-7215	〒890-0034鹿児島県鹿児島市上6丁目27番15号
静岡営業所	0542-83-0171	〒422-8032静岡県静岡市有馬3丁目9番1号 2F	長野営業所	0262-28-7970	〒380-0921長野県長野市大字栗田314番地の3
関西営業所	06-386-4136	〒564-0041大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	松本営業所	0263-48-4772	〒390-0852長野県松本市島立830-11 深澤ビル102号
アルパイン東北			高崎営業所	0273-61-5813	〒370-0073群馬県高崎市緑町3丁目16-6
仙台営業所	022-239-5331	〒983-0043宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号	アルパイン近畿販売		
盛岡営業所	0196-47-0115	〒020-0133岩手県盛岡市青山2丁目23番7号	阪和営業所	0722-58-8111	〒591-8023大阪府堺市中西吉島町4丁目57番地
秋田営業所	0188-65-4221	〒010-0953秋田県秋田市山王中園町5-11	滋賀営業所	0775-66-1140	サンライズ中西吉島103号
郡山営業所	0249-25-3811	〒963-8051福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号	アルパイン新潟販売	025-270-7021	〒525-0036滋賀県草津市草津町1660番地
山形出張所	0236-35-1960	〒930-2492山形県山形市鉄砲町1丁目14番12号 コーポサイト107号	アルパイン新潟販売	025-270-7021	〒525-0036滋賀県草津市草津町1660番地
アルパイン中四国			アルパイン埼玉販売	048-664-7701	〒331-0852埼玉県大宮市桜木町3丁目179番地
岡山営業所	0862-43-8257	〒700-0970岡山県岡山市今4丁目2番2号	東京アルパイン販売	03-3253-2635	〒101-0063東京都千代田区神田淡路町1の13
広島営業所	082-230-0500	〒733-0001広島県広島市西区大芝3丁目14番10号	アルパイン福井販売	0776-50-1565	〒910-0851福井県福井市米松2丁目24番地の20号
山口出張所	08397-2-6848	〒754-0002山口県吉敷郡小郡町大字下郷2216番地の1	アルパイン北国販売	0763-40-8111	〒921-8066石川県金沢市友来3丁目72番1号
高松営業所	0878-34-0426	〒760-0079香川県高松市松緑町34番地の2	アルパイン三重販売	0593-90-0220	〒510-0235三重県鈴鹿市南江島7-14
愛媛出張所	0899-34-0535	〒790-0965愛媛県松山市小坂5丁目13番10号	アルパイン京都販売	075-351-6406	〒600-8480京都府京都市下京区五条通 堀川東入小泉町113番地の1
			アルパイン兵庫販売	078-681-9711	〒652-0807兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5の6
			アルパイン高知販売	0888-84-6800	〒780-8122高知県高知市高浜新町3丁目10番8号
			アルパイン沖縄販売	0988-66-1916	〒900-0003沖縄県那覇市安通217番地3

はじめに

- 次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
 - 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
 - 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取り付け説明書も合わせてご覧ください。
 - 不明点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
 - 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
 - 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

1. 取り付ける

- 1 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキング・ブレーキをかけ、エンジン・キーを抜く。
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分か確認する。

- 2 取り付ける。



警告

穴を開けるときは、パイプ・配線類を傷つけない
車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災の原因になります。

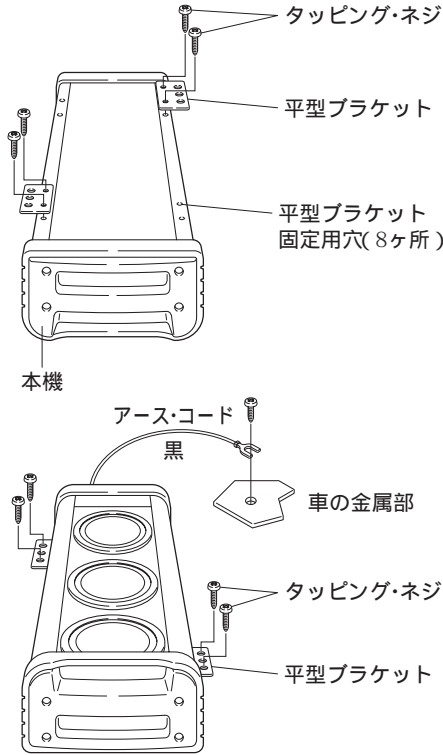


警告

取り付け・アース接続にはブレーキ類のボルト・ナットは使わない
ステアリングやブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは、取り付け・アース接続に絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

●横置きの場合

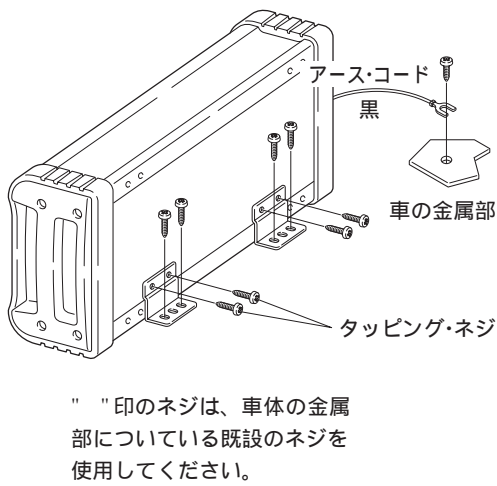
- 取り付け場所を設定します。
(トランク・ルームなどが最適です。)
- 本機底面の平型ブラケット固定用穴のところに、ドリルで3mm以下に穴を開けます。
- タッピング・ネジで平型ブラケットを本機に取り付けます。
- 取り付けネジ位置に印をつけます。
- ドリルで3mm径以下の穴を開けます。
- タッピング・ネジで本機を車に固定します。
- 本機のアース・コードを車の金属部に取り付けます。



" " 印のネジは、車体の金属部についている既設のネジを使用してください。

●縦置きの場合

- 取り付け場所を設定します。
(トランク・ルームなどが最適です。)
- 取り付けネジ位置に印をつけます。
- ドリルで3mm径以下の穴を本機に開けます。
- タッピング・ネジでL型ブラケットを本機に取り付けます。
- 取り付けネジ位置に印をつけます。
- ドリルで3mm径以下の穴を車に開けます。
- タッピング・ネジで本機を車に固定します。
- 本機のアース・コードを車の金属部に取り付けます。



" " 印のネジは、車体の金属部についている既設のネジを使用してください。

2. 接続する

はじめに

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお奨めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

- 2 バッテリー⊖端子を外す。



- コンピューターが装着されている車は、バッテリーの⊖端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種(外国車など)では、バッテリーの⊖端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

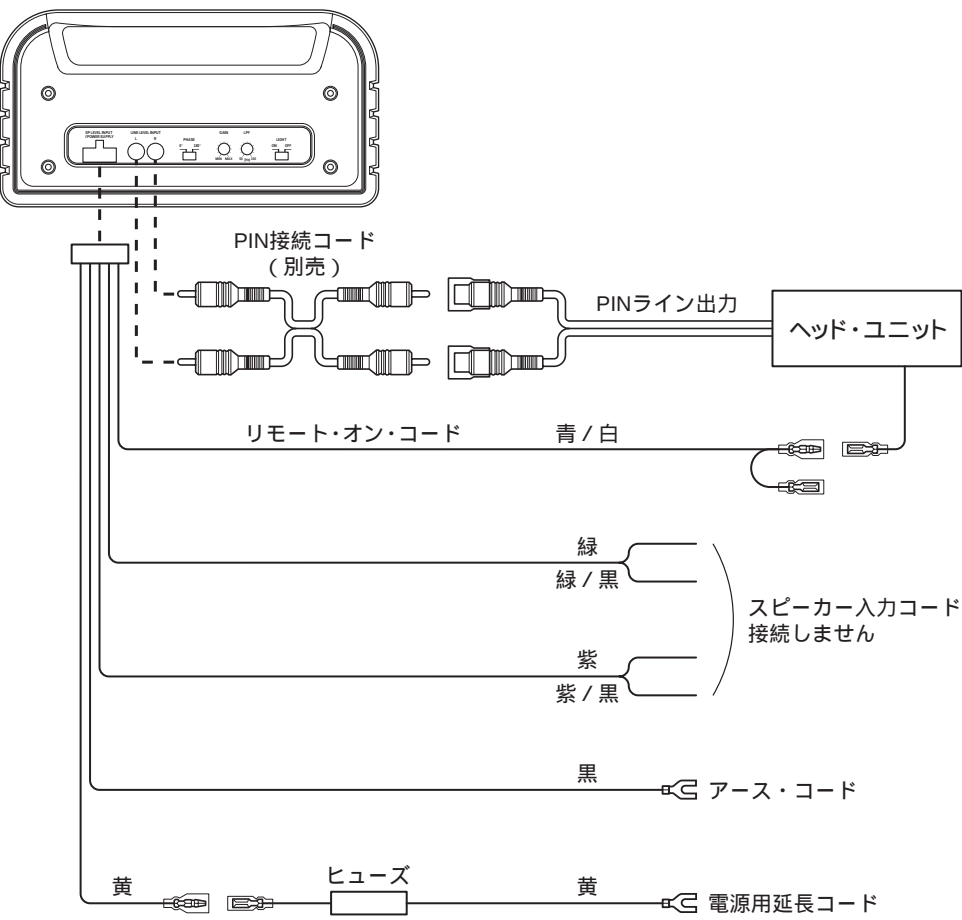
- 3 接続する。



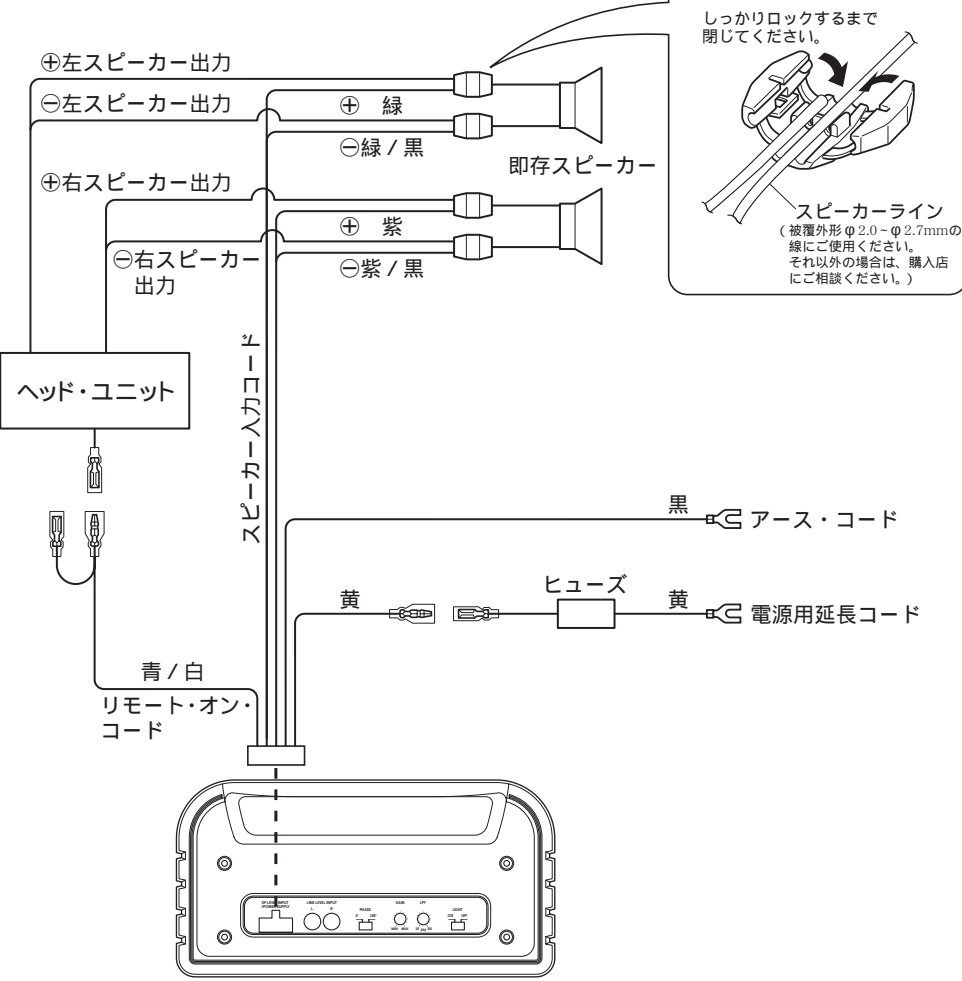
注意

正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●PIN入力接続の場合



●スピーカー入力接続の場合



スピーカー入力用コネクタによる結線
しっかりロックするまで開けてください。

スピーカーライン
(被覆外形φ2.0~φ2.7mmの線にご使用ください。それ以外の場合は、購入店にご相談ください。)

コード名称	補足説明
リモート・オン・コード	ヘッドユニットなどのリモート・オン・コードと接続してください。
アース・コード	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。
電源用延長コード	常にバッテリーの⊕電源が供給されているところに接続してください。



- スピーカー・コードの⊖側が左右共通になっている車両は、使用できません。
- スピーカーのインピーダンスは3.2~8Ωのものをお使いください。
- 車両雑音から守るために
 - アース・コードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - 電源用延長コードとPINコードは離す。
 - 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。
- スピーカー入力コードとピン入力ジャックの両方に同時に接続しないでください。
サブウーハーの効果が得られないばかりでなく、組み合わせる製品の故障の原因となり、危険です。

3. 確認する

- 1 コード類を固定する。



警告

コードを挟まないように引き回す。

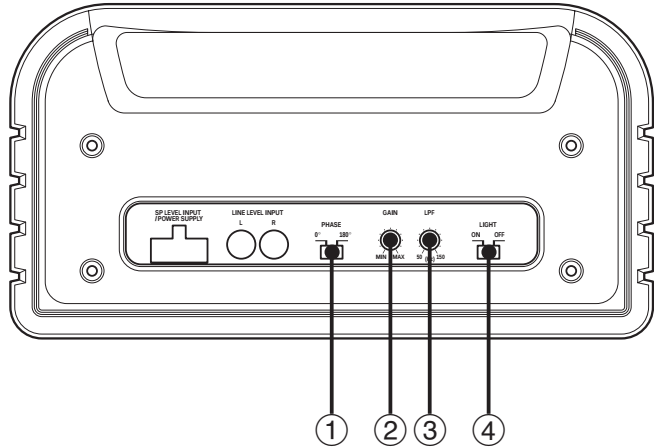
シートレールなどの可動部に配線を挟み込む、突起部に当たるなどして配線を傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。

- 2 バッテリー⊖端子を接続する。

- 3 エンジン・キー/カーオーディオ電源をONにして、本機の動作が正しいことを確認する。

- 4 ホーン/ストップ・ランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

4. 調整する



- ① 位相切替(PHASE)スイッチ
- ② 入力感度調整(GAIN)ボリューム
- ③ ローパスフィルター周波数切替(LPF)ボリューム
- ④ イルミネーション(LIGHT)ON/OFFスイッチ

調整を始める前に入力感度調整ボリューム位置がMINになっていることを確認してください。ボリュームがあがっているとスピーカーに過大な入力が入り、破損する恐れがあります。

- 入力感度ボリュームがMIN、PHASEが0°LPFがセンターになっていることを確認してから、システムの電源をオンにしてください。
- ヘッドユニット等のTRE、BASSをセンターの状態にして、ボリュームを普段聴いているレベルにあわせてください。この時の音楽ソースとしては、いつも聴いているものを使うと調整がやり易いでしょう。
- 次に、SWE-1890の入力感度調整ボリュームをMINから徐々に上げていきます。システム全体で、バランスがとれる位置まで上げていってください。この時、入力感度を上げすぎると音が歪むことがあります。ヘッドユニットのボリュームが上がりすぎても音が歪みます。他のスピーカーからも歪みが出ていないかどうか、確認しながら調整を進めてください。スピーカーシステム全体が歪んでいるような時は、ヘッドユニットのボリュームを絞ってください。
- 入力感度調整が済んだらローパスフィルター周波数切替(LPF)ボリュームを調整し、他のスピーカーとのバランスが最良となるポイントを探してください。
- LPFが変わると聴感上、音圧も変化します。3. 4. の手順を繰り返し最良のポイントを見つけてください。
- 最後にPHASE(位相)の選択をします。運転席に座った状態で0°(正相)と180°(逆相)を切り換えてみて、良い方を選びます。スピーカーの取付位置、車の形状によっては180°(逆相)の方が、良好な場合もあります。



- 安全のため、走行中は必ずイルミネーションON/OFFスイッチをOFFにしてください。
- AM放送を受信中にイルミネーションを点灯するとノイズが発生する場合があります。その場合には、イルミネーションON/OFFスイッチをOFFにしてください。